

経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県春日部市 春日部市立医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	未訓ガ	救臨が感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
235,716	33,600	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

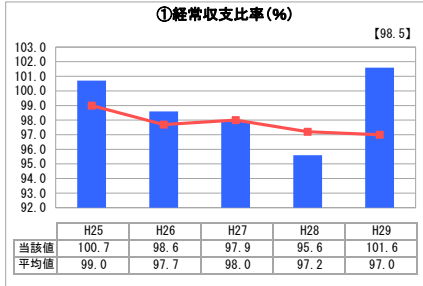
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
361	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	2	363
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
332	-	332

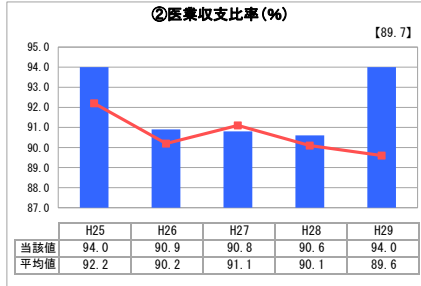
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

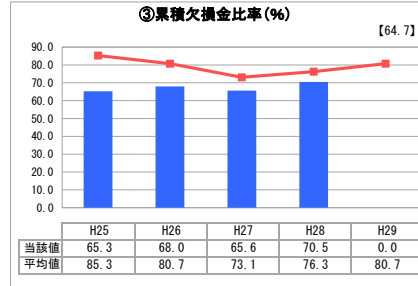
1. 経営の健全性・効率性



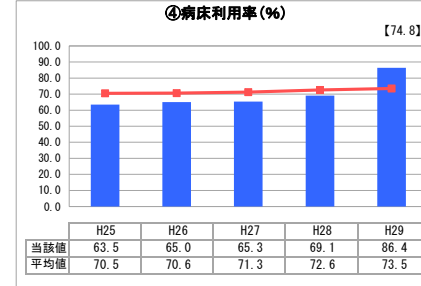
「経常損益」



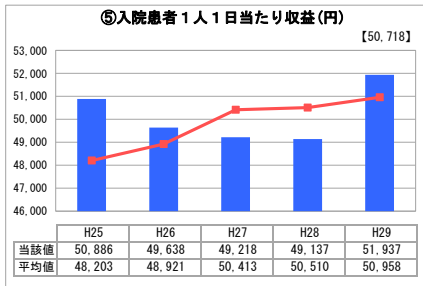
「医業損益」



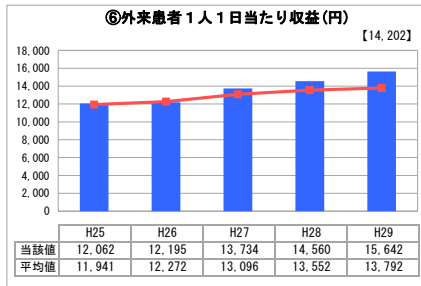
「累積欠損」



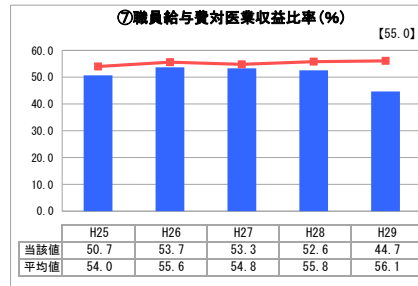
「施設の効率性」



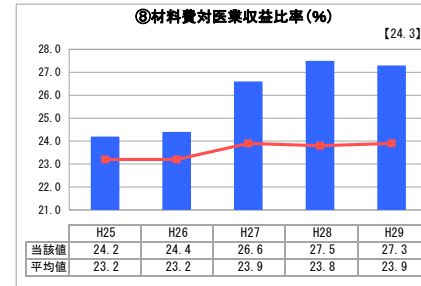
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

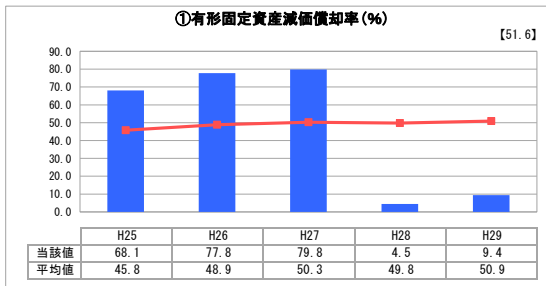


「費用の効率性①」

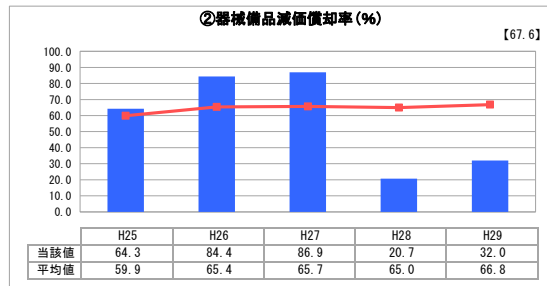


「費用の効率性②」

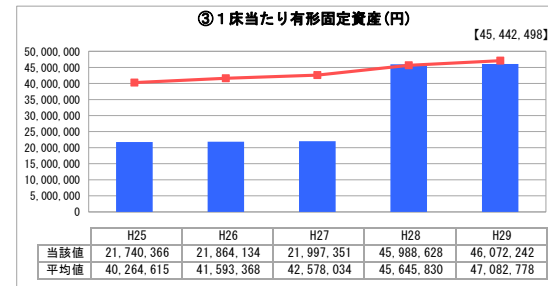
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「施設投資の状況」

I 地域において担っている役割

医療連携体制を支える地域の基幹病院として、地域で不足する専門的な医療を実施している。また、地域がん診療連携拠点病院としての機能強化を図りながら、小児、周産期、救急、災害時医療などの地域拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率は、人件費、材料費等の増があったものの入院・外来患者数が堅調に推移したことにより入院・外来収益が増となり、大幅に上昇した。
③累積欠損金は、平成28年度決算時に解消した。
④病床利用率は、内科、産婦人科を中心に患者数が増となり、類似病院平均値を上回った。
⑤入院患者1人1日当たり収益は、手術件数の増および前立腺がんのダビンチ手術開始などにより、大幅な増額となった。
⑥外来患者1人1日当たり収益は、高額な薬品を使用する抗がん剤治療の影響で増加傾向である。
⑦職員給与費対医業収益比率は、患者数の増に対応するため医師、看護師等を増員したものの医業収益が大幅な増となった影響で、下降した。
⑧材料費対医業収益比率は、高額な抗がん剤の使用の増により高く推移している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率は、新病院建物等の減価償却が始まったことで若干上昇したものの、当面は老朽化の問題はない。今後は施設等の経年劣化、医療機械の計画的な更新に備えていく。
③1床当たり有形固定資産は、新病院建物、構築物および新規導入した医療機械等の計上に伴い、高く推移している。

全体総括

当センターの経営状況については、新病院開院後はじめての通年運営となったこともあり、入院・外来収益が堅実な伸びを示した。今後は、中期実施計画に基づき手術件数、紹介率および逆紹介率の向上を図り、安定した持続可能な経営基盤を確立していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。